

今月の表紙
スワンボートレース



9月5日(水)に中禅寺湖でスワンボートレースが開かれました。大正時代に行われたヨットレースをほうふつさせるもので、中宮祠自治会の小島会長は「中禅寺湖は昔、ヨットが盛んな場所でした。今回は初めてなのでスワンボートでレースを開催しましたが、最終的にはヨットレースを復活させたい」と、語ってくれました。

当日はあいにくの天気でしたが、参加者は約200m先に浮かんだゴールのボートを目指し、スワンボートのペダルを力強く漕いでいました。ゴールでは到着順にくじを引き、当たった人には景品が贈られました。

参加者の大関まり絵さん(清滝中安戸町)に感想を聞くと、「レースという感じはしませんでした。思うように進まないのが逆に面白く、良い運動になりました。隣のボートの外国の方と話しながらペダルを漕いでいました。ぜひ来年もやってもらいたいです」と、笑顔で話してくれました。



外国の方にもくじが当たりました

8月25日(土)に川治グラウンドで行われた川治屋台夜祭。かがり火の淡い光が会場を包み込む中、郷土芸能の川治太鼓やまつり囃子、尺八とシンセサイザーによるライブなどが披露されました。また、会場には地元の方たちが出店した屋台も立ち並び、川治温泉の宿泊客など、多くの家族連れでにぎわいました。

祭りの最後を締めくくったのは、沖縄県人会「兄弟会」による沖縄エイサー。会場を訪れた人たちも沖縄の伝統的なこの踊りに加わり、会場全体が盛り上がりました。昨年に引き続き、屋台を出店した宮澤栄子さん(藤原)は、「今日はお客さまが多くて、ほとんどの店で完売でしたよ。エイサーですか? もちろん踊りました。とても楽しかったですね」と話してくれました。



川治屋台夜祭



歴史を感じられる2つのコースを21名が歩きました。壬生町から参加した田中ツネ子さん

9月8日(土)、9日(日)の2日間、日光総合会館を起点に日光・今市地域を歩くイベント「日光ツデーウォーク」が行われました。1日目は二社一寺周辺を中心に歩く、「稲荷川・世界遺産コース」。2日目は大谷川沿いを中心に、市街地や日光杉並木街道を歩く、「大谷川・杉並木コース」と、文化や



日光子ども歴史探検隊のみんなは、この日のために勉強会や練習を重ねました。上手に紹介できたかな?

は、「初回から毎年参加しています。元気に歩けることを楽しみにしています」と話してくれました。また、1日目には、コース上の史跡を「日光子ども歴史探検隊」が紹介しました。参加者の皆さんは、休憩を兼ねて話に聞き入っていました。滝尾神社についてクイズを交えて紹介した、日光小学校6年生の原田大地くん(感想を聞くと、「歴史を勉強できたこと、紹介できたことがよかったです。これからの歴史の勉強に役立つと思います」と答えてくれました。

8月18日(土)・19日(日)の2日間、市縁ひろばでそばガーデンが開催されました。このイベントはビアガーデンのそば版として、野外で手打ちそばと生ビールを味わってもらおうというもので、毎年行われています。

初日は、この時期にしては少し肌寒い天候だったため、温かいそばが人気を集めていました。会場ではお囃子も披露され、イベントに華を添えました。多くの家族連れが訪れ、おいしいそばと生ビール、そしてお囃子を堪能しました。会場を訪れた手塚さん一家(瀬川)は、「毎年のように来ていますが、今日の天気はいいと思います。おいしいそばをいただきました」と話してくれました。



おいしいそばを食べながらニコリ

湯殿山神社祭礼



8月15日(水)、湯西川温泉で湯殿山神社祭礼が行われました。天狗の面をつけた猿田彦の先導で、神輿の行列が温泉街を通り湯殿山神社へ向かいました。

神輿が到着した神社では、湯西川上地区と湯西川下地区の2つの地区の獅子舞が奉納されました。獅子が勇ましく頭を振ると、地元の人たちや観光客から大きな歓声が上がっていました。

「湯西川温泉獅子舞を守る会」の山氏勇介さんに、祭礼に対する思いを聞くと「若い世代が祭りを盛り上げていくことが、地域の活性化につながると思います。もっとたくさんのお客さんに見に来てもらえるように、上地区と下地区で競い合い、そして協力し合いながら頑張っていきたいですね」と話してくれました。



そばガーデン

足尾石刀節全国大会

足尾石刀節全国大会が8月19日(日)、足尾市民センターで開催されました。足尾石刀節は、明治のころに足尾銅山で働く坑員が暗い抗道の中で作業中に唄った仕事唄であり、足尾に古くから伝わる郷土民謡です。大会には県内外から民謡愛好家約100名が出場し、自慢ののどを披露しました。出場者の一人、山形末吉さん(稲荷町2丁目)は上位20名で争



る決勝大会に進み、優秀賞第5席(第10位)に入賞。「決勝大会での出来は良かったと思います。私の得意な民謡の一つですからね。76歳という年齢を考えると、順位には満足していますよ」と話してくれました。



優勝した中村さん。「一昨年は準優勝、昨年は入賞だったので、念願がかなう、言うことありません」とのこと

なお、優勝したのは那須烏山市在住の中村正男さんでした。